

備前市事務事業評価表

事務事業名	農業用施設整備事業		コード	04-01-01-02
			担当課・係	農林水産課 耕地治山係
			担当者	大森 康晴
			電話	0869-64-1830
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目(施策)	農業		

事業について	
目的 (何のために)	農業用施設を整備・改良・補強することにより農業基盤の強化、農業経営及び食糧供給の安定化、被災対象区域住民の安全を図る。
対象 (誰・何を対象に)	農業経営者・農業従事者及び被災対象区域住民
内容	ため池、農道、用排水路等、農業用施設の整備

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
ため池等整備事業	5.9 ha	22.2 ha	
農道整備	100.0 m	207.0 m	
農道舗装	23.4 ha	0.0 ha	
灌漑排水	102.1 ha	4.6 ha	
土地改良施設適正化事業	37.9 ha	37.9 ha	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	204,777	間接補助金等	80,141	直接事業費	180,366	間接補助金等	18,764
	人件費	12,300	受益者負担	46,997	人件費	8,549	受益者負担	37,992
	合計	217,077	市債	44,000	合計	188,915	市債	8,000

必要人員	173	人
結果指標	ため池等整備事業	ため池等整備事業
結果指標量	5.9	22.2
単位	ha	ha
対前年比		376.27%
活動にかかるコスト	45,920,000 円	24,717,000 円
単位当たりコスト	7,783,051 円	1,113,378 円
結果指標	農道整備	農道整備
結果指標量	100.0	207.0
単位	m	m
対前年比		207.00%
活動にかかるコスト	9,900,000 円	22,884,000 円
単位当たりコスト	99,000 円	110,551 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	農業用施設の改良を行い、生産の向上を図る。		
成果指標名	ため池整備率	式又は説明	整備済みため池(部分改修を含む)/ため池全数 1 2 6 / 3 5 0
	17年度	18年度	
成果指標量	35.1%	35.7%	
対前年比	-	101.71%	0.00%
到達目標値	40%	到達目標年度	30年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成18年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 < A ~ E >	B
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 土地改良法	課題認識 本事業は、事業費の一部を受益者（耕作者）が負担して行なう事業であるが、経年により農地の宅地化、荒廃農地の拡大により、受益者の一人当たりの負担額は増加傾向にある。今後は、農業用施設ではあるが、公共性のある施設として、受益者の範囲を検討する必要がある。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	効率性評価 < A ~ E > B 課題認識 今後改修予定のため池整備事業においては、仮設道路等が必要となる工事が多い。また主要材料の鋼土は採取が難しく、従来の工法を再検討する必要がある。これらにより、事業費が増加する傾向にある。また、利用していない施設は防災状況（被害想定区域）を把握し、影響がなければ廃止を検討すべきである。
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価 < A ~ E > B 課題認識 ため池整備は、防災面も含めて、検討すべき事業であるため順次整備していかなければならない。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を中止・完了	説明 今年度は1箇所予定しているが、湯水状態であり、漏水が確認でき次第、設計施行を行なう予定である。
-----------	--	---

目標値	結果指標量	結果指標量	100,000m/円
	成果指標量	結果指標量	37%

総合評価	事業費は増加、受益者は減少傾向にあるために、改良すべき施設を地元関係者と要協議を行い、廃止する施設の検討も必要である。	評価区分 < A ~ E > B
------	---	------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	受益者の検討	毎年	一人当たりの負担金の減額（市費の削減）
効率性	工法検討	毎年	早期完了
有効性	地元関係者による日常点検の実施	毎年	災害防止